

# 非小細胞肺癌（進行・再発） 1st Line

## Pembrolizumab+CDDP+PEM療法(short hydration)

コース目

患者ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m <sup>2</sup> )
HEIGHT01_D	HEIGHT01_D	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース 21日間

目標コース数: 4コース施行後、Pembrolizumab+Pemetrexed投与

使用基準: class A (扁平上皮癌への使用は避けること。)

**開始前に甲状腺機能の確認のため、乳腺甲状腺外科へコンサルテーションすること。**

※ 各適正使用ガイドに準じて投与すること

※ **投与中**はVital singのチェック(Monitor装着を推奨)

※ **Infusion reaction**に要注意

重度のInfusion reaction (アナフィラキシー様症状、血管浮腫、気管支痙攣、発熱、悪寒、呼吸困難、低血圧等)が発現することがある。**2回目以降**の投与時に初めて発現することもある。

※ 間質性肺疾患があらわれ、死亡に至った症例も報告されているので、初期症状(息切れ、呼吸困難、咳嗽、疲労等)の確認及び胸部X線検査の実施等、観察を十分に行うこと。また、異常が認められた場合には必要に応じて本剤の投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。

※ 肝機能障害に注意すること。

※ 甲状腺機能障害に注意すること。甲状腺機能障害があらわれることがあるので、本剤の投与開始前及び投与期間中は定期的に甲状腺機能検査(TSH、遊離T3、遊離T4等の測定)を実施すること。本剤投与中に甲状腺機能障害が認められた場合は、適切な処置を行うこと。

※ 肝炎ウイルス検査を行うこと。

指示: 体重測定 毎日起床時

注意: Day4以降も水分摂取が少ない場合や尿量が少ない場合には、輸液を考慮すること

### 《使用薬剤》

ペムブロリズマブ: (ペンブロリズマブ) 100mg/V

ペメトレキセド: (へムレキセド) 100mg・500mg/V

シスプラチン: (CDDP): シスプラチン注(50mg/100mL/V、10mg/20mL/V)

### 投与量:

薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
ペンブロリズマブ	200 mg/body	200.0		1
へムレキセド	500 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1
シスプラチン	75 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1

### << タイムスケジュール: 開始時刻 >>

**※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。**

初回投与7日以上前に

- ① メチコパール注500μg 2A筋注。以後、3クール(9週間)毎に1回投与。
- ② パンピタン末1g/日(葉酸 0.5mg/日) 毎日内服。

開始日: 1月1日 (金) Day1

- |       |  |
|-------|--|
| 0時00分 | ① 生理食塩液 50mL<br>血管確保用に速度適宜に点滴静注  |
| 0時15分 | ② 生理食塩液 100mL + ペンブロリズマブ注 <b>mg</b> <span style="float:right">0.0mL</span><br><u>0.2μm or 0.22μmのフィルタ一体型輸液セットを使用する</u><br>30分で点滴静注 |
| 0時45分 | ③ 生理食塩液 50mL<br>フラッシュ  |
| 1時00分 | ④ 生理食塩液 500mL + 硫酸Mg補正液 8mL<br>1時間で点滴静注  |
| 2時00分 | ⑤ ソリタT3号 500mL<br>1時間で点滴静注   |
| 2時55分 | <b>内服</b> アプレピタントカプセル 125mg 1×(1) シスプラチン開始 1時間前頃   |
| 3時00分 | ⑥ 生理食塩液 50mL + アロキシ 1V + デキサート 9.9mg<br>15分で点滴静注   |
| 3時15分 | ⑦ 生理食塩液 100mL + へムレキセド <b>0mg</b><br>10分で点滴静注  |
| 3時25分 | ⑧ マンニトール 300mL<br>30分で点滴静注   |
| 3時55分 | ⑨ 生理食塩液 700mL + シスプラチン <b>0mg</b> <span style="float:right">0.0mL</span><br>90分で点滴静注   |
| 5時25分 | ⑩ 生理食塩液 500mL<br>1時間で点滴静注  |
| 6時25分 | ⑪ ソリタT3号 500mL<br>1時間で点滴静注   |

Day2~3: 1月2日 (土) ~ 1月3日 (日)

起床後 **内服** アプレピタントカプセル 80mg 1×(2) 起床後

3時15分 ① 生理食塩液 50mL + デキサート 6.6mg  
15分で点滴静注

3時30分 ② ソリタT3号 500mL×3  
4.5時間(1.5時間×3)で点滴静注

### REFERENCE

L. Gandhi, D. Rodriguez-Abreu, S. Gadgeel, E. et al : N Engl J Med 2018;378:2078-92  
Pembrolizumab plus Chemotherapy in Metastatic Non-Small-cell Lung Cancer  
2019年1月度化学療法プロトコル審査委員会承認: 2019年1月21日